

知財・情報フェア&コンファレンス 生成 AI を活用したアイデア発想と創造

2026 年と 2025 年の展示発表の比較調査

調査基準日 2026 年 9 月 21 日

GPT-6 Astra

1 調査の要点と対象

公開資料を比較すると、2026 年の変化は、生成 AI による発想支援を、発明の掘り起こし、周辺発明・特許網の構想、特許群からの新用途探索、研究開発・知財部門の連携へと具体化したことにある。2025 年にも、アイデア生成、複数 AI の利用、AI エージェント、事業化支援は既に登場していた。本報告は、この継続性を踏まえて、展示・発表内容の変化を検討する。

対象は、2026 年 9 月 16～18 日開催の第 35 回と、2025 年 9 月 10～12 日開催の第 34 回の知財・情報フェア&コンファレンスである。[\[1\]](#)[\[2\]](#)

両年の公式出展情報・講演プログラムと、出展各社の告知、製品説明、開催後レポートを照合した。2026 年については公式出展者一覧・製品一覧・セミナー一覧を横断的に点検し、2025 年については当時の資料を比較の基準とした。[\[3\]](#)[\[4\]](#)[\[5\]](#)[\[6\]](#)

以下の「展示内容」は、特記しない限り公表された出展・発表内容を指す。会場での全実演の実施状況や、各製品の性能を独立に検証したものではない。出展者の説明、開催後報告、本報告の考察を区別して記載する。

分類	支援する仕事	本報告での位置づけ
アイデアや発明候補の生成	技術課題に対する解決案、改良案、周辺発明を提案する。	直接的な発想支援
新用途や新事業の構想	保有特許・技術を、別用途や事業機会に結びつける。	直接的な創造支援
発明発掘と具体化	研究者の工夫を引き出し、発明として整理する。	人の創造活動を支える機能
調査文書化 知識管理	関連技術の検索、提案書作成、社内知識の共有を行う。	発想を支える周辺機能

2 2025 年の展示と発表

2025 年には、発想・創造支援の具体的な機能や企業事例が既に提示されていた。特に、次の出展者は年次比較の基準として重要である。

2 1 Axelidea

AXELIDEA Patent は、アイデア、特許クレーム、市場ニーズ、事業化コンセプトまでを支援する製品として紹介された。Patent Flow は特許番号から活用戦略や技術移転候補を提案し、Patent Spark は 8 つの生成 AI を活用したアイデア提案を掲げていた。技術的な発想と事業構想の両方を扱い、複数 AI の利用も 2025 年時点で確認できる。[7]

Patent Flow の提供開始日は 2025 年 9 月 1 日とされている。新規事業の構想、既存事業の強化、技術移転先・提携先の検討まで支援する内容であり、将来構想のみを示した展示ではなかった。[8]

2 2 HackCamp

共創ナビ ivan について、企業情報や特許番号を入力すると事業アイデアを提示するデモが行われた。開催後レポートでは、特許群から事業テーマを導く方法と、三菱電機の実践事例を紹介したことも確認できる。保有技術を起点にした新規事業創造と、人・AI・組織の連携を既に扱っていた。[9]

2025 年 9 月 10 日は正林国際特許事務所との事業戦略に関する講演、9 月 11 日は三菱電機の事例に関する講演が案内されていた。2025 年を一律に試験的なアイデア出しの段階と評価することは適切ではない。[10]

2 3 Patsnap

Eureka と AI Agents について、研究開発テーマの探索、技術課題の分析、解決策の提案などが紹介された。技術課題から解決案を探る支援と、自律的な業務遂行を志向する AI エージェントが 2025 年時点で存在していた。[11]

2 4 トヨタテクニカルディベロップメント

swimy は、発明提案書や特許調査を支援し、図・フローチャート・化学式・数値範囲への対応を紹介していた。講演概要では、発明アイデアから提案書を作成し、特許分析までつなぐ機能を説明している。人が持つアイデアの具体化・文書化が中心であり、発明から分析までの一連の支援が提示されていた。[12][5]

2 5 AI Samurai

AI Samurai ONE・ZERO 等の出展に加え、講演では、AI の提案を人間が見いだし、さらに創作して発明へ発展させる関係が説明された。AI と人間による発明の共創が既に明示されていた。ただし、2026 年に新機能として紹介された個々の機能が、2025 年にも存在したとする根拠は確認できない。[13][5]

2 6 amplified ai

特許データ基盤と AI エージェントを連携させ、検索からレポート作成までを自動化する実演が講演概要に示されていた。明細書作成やポートフォリオ分析への展開も紹介され、調査・評価・文書化へ接続する基盤の提示が確認できる。[5]

2.7 関連講演の一覧

表 1 のテーマは比較のための要約であり、演題の逐語的な転載ではない。日時・番号は公式プログラムにより、Axelidea と HackCamp は各社の登壇案内でも照合した。[5][7][10]

表 1 2025 年の主な関連講演

日時と講演番号	発表者	発想や創造に関するテーマ
9 月 10 日 10:15～11:00 P9	amplified ai	特許データ基盤と AI エージェントの連携。 [5]
9 月 10 日 12:35～13:20 P15	XLSCOUT／TT Consultants	自律的な AI を、発明から権利化・活用までの 業務に接続。[5]
9 月 10 日 16:05～16:50 P33	HackCamp／正林国際特許事務所	IP ランドスケープと生成 AI を使った事業戦 略。[10]
9 月 11 日 11:25～12:10 P 42 9 月 12 日 12:35～13:20 P 77	トヨタテクニカルディベロッ PMENT	swimy による発明提案書作成・特許分析。[5]
9 月 11 日 12:35～13:20 P45	Axelidea	AI が発想を促す仕組みと特許の事業活用。[7]
9 月 11 日 16:05～16:50 P60	HackCamp／三菱電機	技術資産を用いた事業開発の実践。[10]
9 月 12 日 11:25～12:10 P69	Patsnap	知財・研究開発などを支援する AI エージェン ト。[5]
9 月 12 日 16:05～16:50 P92	AI Samurai	AI の提案を人の創作へつなげる共創。[5]

2.8 周辺領域の展示

NTT データは 2025 年に初出展し、知財領域の AI モデル・AI エージェントを含む基盤や技術探索・分析を紹介した。2026 年が知財 AI 分野への初参入というわけではない。[14]

東芝デジタルソリューションズは、知財管理サービス IPeakMS とともに、社内で検討した生成 AI のプロンプト事例を参考出展していた。[15]

エムニの AI 特許ロケットは、特許群の分析や、自社アイデアに近い特許の提示を説明していた。これは主として、アイデアを調査によって磨く支援に位置づけられる。[16]

3 2026 年の展示と発表

2026 年は、発想支援の仕組みと、実務のどこに組み込むかについて、より具体的な説明が確認できる。以下では、発想・創造との直接的な関係が強い展示を先に整理する。

3 1 AI Samurai

「発明御三家」は GPT・Claude・Gemini を同じチャット上で議論させる機能である。「発明ホコタテ」は、基本特許から役割の異なる周辺特許群の案を作る機能として紹介された。複数 AI による検討の組み立て方と、単独の発明候補から周辺発明群への展開を明示している。[17]

同社は、発明ホコタテについて約 5 分で 5～6 件の案を生成すると説明している。この数値は出展者の公表値であり、出力は周辺特許の案である。新規性・実現性などの確認を終えた権利群が得られることを意味しない。また、MCP による日米中の特許データベースと生成 AI の接続も紹介された。[17]

2025 年の Axelitea にも複数 AI の利用があったため、比較上の注目点は、モデル数だけでなく、AI 同士の検討をどう組み立て、どのような関係を持つ発明候補を出すかという設計の具体化にある。[7][17]

3 2 HackCamp

2026 年の講演では、特許群から技術・機能を抽出して構造化し、AI が複数特許を横断して発想する新用途探索が示された。生まれた用途仮説を研究開発との協議や出願につなげる過程も扱う内容である。2025 年にも特許群から事業テーマを導いており、2026 年は構造化と横断的な発想の手順をより具体的に説明したと評価できる。[18][9]

公式出展情報では、共創ナビ ivan、社内資料と技術・知財・経営情報を関係づける GraphRAG、ファシリテーターによる支援を組み合わせている。AI の出力を人や組織の行動につなげる支援も重視していると解釈できる。[19]

9 月 17 日の講演は当初の共同講演から内容が変更されている。日時・内容は、9 月 7 日の更新告知と公式講演一覧の更新後情報に基づく。[18][6]

3 3 NTT データ

NTT データは、研究者・開発者の工夫を整理し、不足情報や知財部門が確認すべき観点を示しながら、発明相談から提案書作成までを支援するサービスを公表した。同社は、AI が発明を自動生成するサービスではないことを明記している。先行提供の開始は 2026 年 10 月以降の予定であり、展示時点での全面的な提供開始とは区別する必要がある。[20]

2025 年の幅広い AI 基盤の紹介に対し、2026 年は最初に提供する業務と時期が具体化した。新しい解決案を外から提案する機能とは別に、社内で生まれている工夫を発明として認識・整理する役割が明確になった。[14][20]

3 4 Patsnap

Eureka 等の専門データと AI エージェントに加え、MCP を利用した外部 AI との連携や、Agent Skills による業務手順の構築・連携を出展内容に含めた。2025 年にも AI エージェントは紹介されており、2026 年の変化は、既存の業務環境に組み込む方法を明確に示した点にある。[\[21\]\[11\]](#)

3 5 amplified ai とルーチェアイピー

AI との壁打ち、発明発掘、先行技術調査、知識共有、API・MCP による社内 AI との接続を説明した。組織に蓄積された知識や検討の文脈を共有する仕組みを重視している。講演では、発明者の説明を関連特許の検索や資料の構造化につなぐ方法、組織内で利用を定着させる条件を扱っている。[\[22\]\[6\]](#)

3 6 aiip とスズエ国際特許事務所

マインドマップによる発明発掘から、明細書ドラフト、拒絶理由対応、権利化までをつなぐ実務モデルを提示した。AI が整理・生成した内容を弁理士が確認・修正する体制を明示しており、発明を整理する画面と、専門家が判断する工程の具体性が特徴である。[\[23\]](#)

3 7 リーガルテック

MyTokkyo.Ai による発明内容の整理、関連特許の初動調査と、IPGenius による社内の研究開発・知財情報の活用を紹介した。講演では、発明相談への AI エージェント導入を扱い、研究者と知財担当者との間の情報の受け渡しを支援する方向を示している。[\[24\]\[6\]](#)

3 8 アイパクトリ

IPEDIT invent について、社内環境で動作する生成 AI による発明届出書作成支援を発表した。発想を生む段階に加えて、社内で扱える発明情報へ整理する工程を対象としている。公開講演概要だけから、発明そのものを自律的に生成する製品と評価することはできない。[\[6\]](#)

3 9 関連講演の一覧

表 2 のテーマは要約である。会場名の P1～P6 は 2026 年の会場表記であり、2025 年の講演番号 P9 等とは体系が異なる。[\[6\]](#)

表 2 2026 年の主な関連講演

日時と会場	発表者	発想や創造に関するテーマ
9 月 16 日 10:15～11:00 P3	amplified ai	特許情報と組織の知識を AI と共有し、発明者の説明を調査・資料化につなぐ。 [6]
9 月 16 日 10:15～11:00 P 4 9 月 17 日 10:15～11:00 P 2	リーガルテック	発明相談、内容整理、初動調査への AI エージェント導入。 [6]

日時と会場	発表者	発想や創造に関係するテーマ
9 月 16 日 12:35～13:20 P 3 9 月 17 日 10:15～11:00 P 3	AI Samurai／トヨタテクニカルデ イベロップメント	主要 3 モデルの知財実務での使い方。[17]
9 月 16 日 13:45～14:30 P1	HackCamp	事業目標と特許群を結びつける AI 活用。[18]
9 月 16 日 13:45～14:30 P3	Patsnap	専門データと AI エージェントによる研究開 発・知財支援。[21]
9 月 16 日 16:05～16:50 P5	マークアイ 講師 萬秀憲氏	顧客情報と知財・技術情報を組み合わせた事 業機会の構想。[6]
9 月 17 日 10:15～11:00 P5	アイパクトリ	社内環境での発明届出書作成支援。[6]
9 月 17 日 16:05～16:50 P4	HackCamp	特許群を横断した新用途・事業案の探索。[1 8]
9 月 18 日 13:45～14:30 P6	aiip／スズエ国際特許事務所	発明発掘から権利化までの AI と専門家の分 担。[6]
9 月 18 日 16:05～16:50 P1	AI Samurai	特許データと AI を接続した発明・知財戦略支 援。[17]

3 10 発想を支える周辺展示

東芝は、IPeakMS に蓄積した知財情報の生成 AI による活用と、発明・知財活用に向けた次の行動の支援を説明した。技術者の暗黙知を AI で抽出する「知識ばらし」は参考出展である。2025 年のプロンプト事例紹介に比べ、社内知識と業務基盤への組み込みが前面に出ている。[25][15]

アイビーリサーチの AIPs は、図面・化学式を入力に使うローカル LLM であり、文書生成を繰り返すことによる発明のバリエーション検討も説明する。主軸は文書化である。ローカル LLM 自体は 2025 年にも紹介されており、2026 年に初めて登場したものとはいえない。[26][5]

AIDAO は、発明から権利活用まで各社の業務に合う AI を社内で実装・改善する「特許業務 AI 自走化支援」を紹介した。個別ツールの提供に加え、社内で AI を使い続ける能力の構築を対象としている。[27]

特許検索・要約・分類を主とするサービスは、発想に役立つとしても、直接的なアイデア生成機能と
同列には扱わない。また、2025 年の WIPS による POSCO の新規事業企画事例は関連性があるが、公
開概要だけでは生成 AI による発想方法まで特定できない。[5]

4 両年の比較と考察

表 3 は、前節までの事実関係を整理した比較である。「2026 年で強調されたもの」は、各機能が業界
全体で初めて登場したことを意味せず、当該展示・発表における説明の具体化や重点の変化を示す。

表 3 生成 AI による発想支援の比較

比較軸	2025 年に既にあったもの	2026 年で具体化または強調されたもの
発想の生成	アイデア提案、複数 AI、事業構想。[7][9]	AI 同士の議論、周辺発明群など、生成方法と出力の構造。[17]
発明発掘	発明アイデアからの提案書作成。[12]	相談・追加質問・情報補完を含む、人の工夫の掘り起こし。[20][24]
保有技術の活用	特許番号・特許群からの用途や事業の提案。[8][9]	技術・機能の構造化と、特許間の関係を使う探索。[18]
データとの接続	特許 DB、AI エージェント、社内情報の活用。[11][5]	MCP・API・Agent Skills 等、既存環境に組み込む方法。[21][22]
人の役割	共創、専門家の利用、企業事例。[9][5]	人が判断する場所、弁理士との分担、組織への定着。[23][27]
成果の扱い	アイデアや活用例の提示。[7][9]	事業目標・研究開発・出願との接続を強調。成果の比較検証は限定的。[18][20]

4.1 創造支援の仕事が分かれてきている

新しい解決案を作ること、既存技術の使い道を探すこと、研究者の工夫を発明として整理することは、それぞれ異なる仕事である。2026 年には、この違いに対応した製品説明が目立つ。AI Samurai、Hack Camp、NTT データの公表内容の対比は、その分化を示している。[17][18][20]

導入効果を考える際にも、同じ「生成 AI 発明支援」として比較するだけでは足りない。自社の課題が、案の不足、保有技術の用途不足、発明の取りこぼしのいずれにあるかによって、適合する仕組みが変わる。これは各社の説明を踏まえた実務上の示唆である。

4.2 発想の材料の整理と組み合わせが重要になる

複数 AI に案を出させる仕組みは 2025 年にも存在した。2026 年の展示からは、特許の技術・機能を構造化すること、社内の知識を取り込むこと、検討の経緯を共有することにも重点が広がったと読める。
[7][19][22]

競争力を左右するのは、モデルの名前や数だけではない。自社の技術、過去の失敗、設備上の制約、顧客の要求を、発想の過程にどれだけ適切に入れられるかが重要になると考えられる。MCP や API による接続は、そのための手段の一つである。接続の有無だけで、発想の質が保証されるわけではない。

4.3 選別と検証と実行が大きな課題になる

AI Samurai の周辺発明案、HackCamp の用途仮説、Patsnap の技術的な解決案は、いずれも検討候補を増やす方向の支援である。候補が増えるほど、人が確認すべき対象も増える。このため、生成件数や生成時間に加え、次のような評価指標が必要になる。[\[17\]](#)[\[18\]](#)[\[11\]](#)

- ・技術者が有望と判断した案の割合。
- ・既存案と実質的に異なる案の割合。
- ・追加調査・実験に必要な時間。
- ・研究開発テーマや顧客検証へ進んだ割合。
- ・発明提案、出願、事業成果まで進んだ割合。

これらは本報告が提案する評価指標である。確認した公開資料には、共通条件で 2025 年と 2026 年の製品を比較したデータは見当たらない。展示内容の具体化は確認できるが、創造の質がどれだけ向上したかについては、別途検証が必要である。

4.4 知財部門の役割と組織の設計へ議論が広がる

2025 年にも、HackCamp の企業事例などで事業創造や部門連携は扱われていた。2026 年は、発明相談を支えるサービスや、マーケティング・研究開発と知財をつなぐ発表が加わり、仕事の設計がより具体的になっている。[\[9\]](#)[\[20\]](#)[\[24\]](#)[\[6\]](#)

特別フォーラムは、2025 年には AI 時代の制度、知的創造活動、人材を扱い、2026 年には生産性向上を知財部門の価値向上や人材育成へどう結びつけるかを掲げた。プログラム上では、AI 活用後の組織の役割に議論が広がっている。ただし、講演概要から個々の登壇者の当日の見解まで推定することはできない。[\[28\]](#)[\[6\]](#)

5 評価の範囲と残る課題

年次比較には、公開資料の量と種類の違いがある。2025 年は開催後レポートまで確認できる例がある一方、2026 年は開催直後で、出展予告や講演概要が中心である。両年の製品性能や導入成果を同じ精度で比較できる状況にはない。

Axelidea については、2026 年の同名出展を今回の公式一覧で確認できなかった。この点から、製品の終了や需要の減少を推定することはできない。同様に、公開概要に記載のない機能を、当時存在しなかった機能と断定しない。[\[3\]](#)

NTT データの提供開始予定や東芝の参考出展は、展示された内容と商用提供の段階を区別して読む必要がある。また、AI Samurai の生成時間・件数など、出展者による性能説明は、独立した比較試験の結果とは区別する。[\[20\]](#)[\[25\]](#)[\[17\]](#)

今回の変化で実務的な意味が大きいのは、AI の発想を、社内の知識、人の判断、研究開発の検証、出願・事業化の意思決定へ接続する方法が具体化したことである。知財部門には、有望な問いを設定し、候補の根拠を確かめ、関係部門が次の行動を決められる形に整える役割が、より強く求められると考える。

参考文献

本文中の番号は以下の文献番号に対応する。ウェブ資料の最終閲覧日はすべて 2026 年 9 月 21 日。公開日を確認できない資料は、開催年または「公開日記載なし」とした。公式ポータルの出展者・製品・講演情報は、各社が公表した説明を含む。

- [1] 知財・情報フェア&コンファレンス主催者. 第 35 回 2026 知財・情報フェア&コンファレンス 公式サイト. 2026 年開催情報.
URL : <https://pifc.jp/2026/>
参照事項 : 開催日と開催概要。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [2] 知財・情報フェア&コンファレンス主催者. 第 34 回 2025 知財・情報フェア&コンファレンス 公式サイト. 2025 年開催情報.
URL : <https://pifc.jp/2025/>
参照事項 : 開催日と開催概要。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [3] 知財・情報フェア&コンファレンス主催者・各出展者. 2026 知財・情報フェア&コンファレンス 出展者一覧. 2026 年開催情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors>
参照事項 : 出展者と展示分野の照合。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [4] 知財・情報フェア&コンファレンス主催者・各出展者. 2026 知財・情報フェア&コンファレンス 製品一覧. 2026 年開催情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/products>
参照事項 : 出展製品と発想支援機能の照合。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [5] 知財・情報フェア&コンファレンス主催者・各発表者. 出展者プレゼンテーション 知財・情報フェア&コンファレンス 2025. 2025 年版 PDF 全 3 ページ.
URL : https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v5.pdf
参照事項 : 講演番号・日時・概要。PDF の各ページは 9 月 10 日・11 日・12 日に対応。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [6] 知財・情報フェア&コンファレンス主催者・各発表者. 2026 知財・情報フェア&コンファレンス セミナー一覧. 2026 年開催情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/seminars>
参照事項 : 出展者プレゼンテーションと特別フォーラムの更新後情報。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [7] Axelidea 株式会社. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス 出展のご案内. 2025 年 8 月 15 日.
URL : <https://axelidea.com/20250815/>
参照事項 : Patent・Patent Flow・Patent Spark の展示内容と登壇案内。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [8] Axelidea 株式会社. AI 特許戦略支援プラットフォーム「AXELIDEA Patent Flow」を正式リリース. 2025 年 9 月 1 日.
URL : <https://axelidea.com/20250901/>
参照事項 : サービスの提供開始日と特許活用・技術移転候補の提案。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [9] 株式会社 HackCamp. 【第 34 回 知財・情報フェア展示会レポート】知財部門の役割に大きな変化！守りの知財部から攻めの知財部へ. 2025 年 10 月 15 日.
URL : <https://hackcamp.jp/learning/article/ivan-pifc2025-report/>
参照事項 : 開催後報告。ブース実演と正林国際特許事務所・三菱電機との講演。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。

- [10] 株式会社 HackCamp. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス 出展者プレゼンテーションの案内. 2025 年 8 月 20 日.
URL : <https://hackcamp.jp/news/seminar-20250910/>
参照事項 : 9 月 10 日・11 日の講演テーマ、日時、会場。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [11] Patsnap/2025 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 Patsnap. 2025 年出展情報.
URL : https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=86
参照事項 : Eureka と AI エージェントによる研究開発・技術課題への支援。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [12] トヨタテクニカルディベロップメント株式会社/2025 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 トヨタテクニカルディベロップメント株式会社. 2025 年出展情報.
URL : https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=71
参照事項 : swimy の発明提案書・図面・化学式・数値範囲への対応。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [13] 株式会社 AI Samurai/2025 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 株式会社 AI Samurai. 2025 年出展情報.
URL : https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=30
参照事項 : ONE・ZERO 等の出展確認。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [14] 株式会社 NTT データ/2025 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 株式会社 NTT データ. 2025 年出展情報.
URL : https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=34
参照事項 : 初出展、知財向け AI 基盤、技術探索・分析の紹介。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [15] 東芝デジタルソリューションズ株式会社/2025 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 東芝デジタルソリューションズ株式会社. 2025 年出展情報.
URL : https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=70
参照事項 : IPeakMS と生成 AI プロンプト事例の参考出展。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [16] 株式会社エムニ/2025 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 株式会社エムニ. 2025 年出展情報.
URL : https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=334
参照事項 : 特許群分析と自社アイデアに近い特許の提示。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [17] 株式会社 AI Samurai. 2026 知財・情報フェア&コンファレンスに出展します！知財 AI エージェント「MCP サーバー」および AI Samurai ONE の新機能を紹介！. 2026 年 9 月 9 日.
URL : [https://aisamurai.co.jp/2026/09/09/2026 知財・情報フェア&コンファレンスに出展しま/](https://aisamurai.co.jp/2026/09/09/2026%20知財・情報フェア&コンファレンスに出展しま/)
参照事項 : 発明御三家、発明ホコタテ、MCP サーバー、講演日時。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [18] 株式会社 HackCamp. 【セミナー情報】「2026 知財・情報フェア&コンファレンス」出展者プレゼンテーションに登壇決定. 2026 年 9 月 7 日.
URL : <https://hackcamp.jp/news/expo-20260902/>
参照事項 : 特許群からの新用途探索、事業戦略、共同講演からの内容変更。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [19] 株式会社 HackCamp/2026 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 株式会社 HackCamp. 2026 年出展情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/hackcamp>
参照事項 : ivan・GraphRAG・ファシリテーションと人による意思決定。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [20] 株式会社 NTT データ. AI を活用した発明発掘を支援するサービスを先行提供開始. 2026 年 8 月 19 日.
URL : <https://www.nttdata.com/global/ja/news/topics/2026/081900/>
参照事項 : 人の発明発掘の支援、2026 年 10 月以降の先行提供、展示デモの案内。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。

- [21] Patsnap. 「第 35 回 2026 知財・情報フェア&コンファレンス」に出展いたします。2026 年出展案内 公開日記載なし。
URL : <https://www.patsnap.jp/event/pif2026>
参照事項 : Eureka、MCP、Agent Skills、9 月 16 日の講演。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [22] 株式会社 amplified ai / ルーチェアイピー合同会社 / 2026 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 株式会社 amplified ai / ルーチェアイピー合同会社. 2026 年出展情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/amplified-ai>
参照事項 : 発明発掘、AI との壁打ち、API・MCP、組織の知識と文脈の共有。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [23] aiip 株式会社 / 2026 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 a i i p 株式会社. 2026 年出展情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-qdqq2bve>
参照事項 : マインドマップによる発明発掘、スズエ国際特許事務所との連携。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [24] リーガルテック株式会社 / 2026 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 リーガルテック株式会社. 2026 年出展情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-stvhzacs>
参照事項 : MyTokkyo.Ai、IPGenius、発明整理と社内情報の活用。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [25] 株式会社東芝. 2026 知財・情報フェア&コンファレンス. 2026 年出展案内 公開日記載なし.
URL : <https://www.global.toshiba/jp/company/digitalsolution/event/2026/0916-0918.html>
参照事項 : IPeakMS の生成 AI 活用と「知識ばらし」の参考出展。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [26] アイビーリサーチ株式会社 / 2026 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 アイビーリサーチ株式会社 製品「【AIPs】特許専用ローカル LLM」. 2026 年出展情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-2awuasg5#product-aips>
参照事項 : 画像入力、文書作成、発明バリエーションの検討。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [27] 株式会社 AIDAO / 2026 知財・情報フェア&コンファレンス. 出展者詳細 株式会社 AIDAO. 2026 年出展情報.
URL : <https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/aidao>
参照事項 : 特許業務 AI の内製化と組織内への定着支援。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。
- [28] 知財・情報フェア&コンファレンス主催者. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス 来場者向け情報. 2025 年開催情報.
URL : <https://pifc.jp/2025/visit/>
参照事項 : 特別フォーラムのテーマと登壇情報。閲覧日 : 2026 年 9 月 21 日。